

HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ► TRANSCEND, AUGMENT



CR-V e-FCEV

水素の可能性を、自動車メーカーとして。

Hondaは、いち早く水素エネルギーの可能性に注目し、世界に先駆けて燃料電池自動車を発売するなど、クリーンな移動の実現に向けた取り組みを進めてきました。

水素は、再生可能エネルギーから作ることができ、ためて・運び、スピーディーに充填することができます。

この有望なエネルギーキャリアを活用する燃料電池自動車は、カーボンニュートラルをめざす上で、クルマのひとつの選択肢になるでしょう。

水素をパワーソースとする燃料電池自動車は、従来、燃料電池システムや水素タンクのレイアウトの難しさから、専用のボディを必要としてきました。しかし、それではお客様の手の届くクリーンモビリティにはなりません。

歴史ある自動車メーカーとして、まったくなじみのない未知の乗り物を提案するのではなく、クルマの延長線上に将来の可能性を示すことが大切だと考えました。

そうして生まれたのが、CR-V e:FCEVです。





お客様とともに、モビリティの未来へ。

CR-V e:FCEVは、使い勝手のいいSUVに燃料電池システムを搭載し、さらに充電・給電機能をプラスした世界的に見てもユニークなクルマです。

特に給電機能は、お客様のライフスタイルを広げる可能性を持っています。キャンプ場などのオフグリッド環境においても、料理をしたり、電動モビリティを楽しんだり、自由に電気を使えます。いざという時には、電力を供給する「走る発電所」にもなります。クルマは移動手段を越え、新たな暮らしのハブとしての価値を獲得したのです。

カーボンニュートラル社会のいったんを担う
燃料電池自動車の普及を見すえて、CR-Vという世界的に普及しているクルマに燃料電池システムを搭載できたことで、モビリティ社会の理想にまた一歩近づいたと自負しています。

創意工夫しながら新しいライフスタイルを楽しむお客様とともに、モビリティの未来を創っていききたい、そう願っています。

開発責任者 生駒 浩一

FUTURE IS TODAY

明日をもっと心地よく過ごすために、今日できること。

たとえば、電力をどこにでも運べる暮らしを選ぶこと。

CR-V e:FCEV は、電気と水素を自由に行き来するモビリティ。

水素をエネルギーとしてたくわえ、使うときに発電する。

ふだんは、プラグインで充電した電気を使う。

私たちがともにめざす世界。それは、もう目の前にある。

CR-V e:FCEV





style 01

〔Electric Life〕 スマートフォンのように。

このクルマは、スマートフォンによく似ていると思う。

朝起きたら、充電が100%になっていて、ケーブルを抜いたら、私は街へと繰り出していく。

街を走るなら、充電だけでじゅうぶん。今日は水素ステーションを探す必要はなさそう。

そういえば、いまよりも自宅近くに、新しい水素ステーションができるらしい。

その話を聞いたとき、毎日をもっと快適になる。そう思った。

AC充電の詳しい説明は[▶P11]





style 02

〔Clean Drive〕もっと、自然のなかへ。

金曜日に水素をたっぷり入れて、週末はドライブに。

海沿いにあるカフェへ。森のなかのオーベルジュへ。私の行きたい場所リストを、すいすいとかなえてくれる。

深呼吸して、おいしい空気を吸い込む。

このクルマも空気を吸って、水しか出さないらしい。

大自然のなかに、もっとアクティブに、自由に飛び込んでいける。クリーンに、スムーズで快適な乗り心地を感じながら。

今度の週末は、脚をのばしてみよう。ちょっと遠いかも、と思うところまで。

走行性能の詳細説明は[▶P11]





style 03

[Hydrogen] パツとチャージ。

たくさん出かけたら、クルマにもチャージが必要。家の近くにある、水素ステーションに立ち寄った。チャージがすばやく終わることに驚きながら、このクルマの魅力はこれかも、と毎回実感。使い勝手も、ほかのガソリンのクルマとくらべても、劣らないところまできている気がする。今週末はすごく充実した日々だった。クルマと同じように私もチャージ完了。気分一新!またいいことがありそうな予感がした。

水素充填の詳しい説明は[▶P11]





style 04

[Power Supply] 当たり前を、どこにいても。

音楽が趣味。学生時代から仲間とバンドを組んでいる。じつはフェスやイベントにも出たりしてる。このクルマには、電気を外に供給できるから音楽活動のサポートもしてもらっている。

もはや、バンドには欠かせない存在。

もちろん、アンプなど音楽で使うもの以外にも、つなげることができる。

たとえば、アウトドア系。ドライヤーやケトル、ストーブとか。小さな電動の乗り物などにも使える。

どこにいても、当たり前のように便利にらせる。今度は、外で料理でもしようかな。バンドメンバーとともに。

給電の詳しい説明は[▶P11]





style 05

[Comfort] ころろが、整う。

だれにでもあると思う。集中して考えたいとか、逆に、リラックスしたいとか。

カフェに行くのもいいけれど、クルマのなかはどうだろう。

ドアを閉める。とても快適。エンジンで動くクルマじゃないから、こんなに静かなのだろうか。

静寂に包まれる、とはこういうことかとひとり納得。デザインも主張しすぎず、シンプル。

シートが私をやさしく受けとめる。座り心地はもちろん、環境に配慮した素材が使われていると聞いた。

ノートパソコンを、そっと閉じる。気がつくと、スマートフォンの充電が終わっていた。

インテリアの詳しい説明は[▶P11]



調査から開発、生産体制の整備まで。CR-V e:FCEV完成への、遙かなる道程。

新しい“兆し”に触れた フィールド調査

クルマの開発にあたって、アメリカのカリフォルニアでフィールド調査を行いました。都会に自宅を構え、シンプルで質の高い自然体の暮らしを送り、週末は大自然の中で過ごせる別荘やいわゆる民泊の新しいトレンドに着目。開発陣が実際に長距離移動を行い、グリッドが整備されていない大自然の中で、自家発電による電力のみでのオフグリッドハウス宿泊を体験しました。そういったスタイルを実践している方々に取材すると、別荘ではソーラーパネルによる再生可能エネルギーを使うなど、知的で美意識の高い暮らしを送っています。また、自然の中で過ごすときに電動のバイクやスタンドアップパドルボードに乗るなど、環境に負荷をかけない選択肢が当たり前ものになってきていました。環境意識の高い方々にもマッチする電動車が、使い勝手がよく都市から砂漠まで走破できるSUVだったら。CR-V e:FCEVの可能性が具体的に見えてきました。



オフグリッドハウスでの宿泊も体験

世界中で親しまれている“CR-V”に搭載できる パワートレーンシステム

燃料電池システムの普及・拡大に向けて、GM社との共同開発を行いました。両社の知見とスケールメリットを活かして完成した高性能・高効率なシステムを、CR-Vのボンネット内に搭載することが至上命題でした。自由なレイアウトができる専用車と比べると、既存のクルマにすべてのパワートレーンシステムを組み込むには、難しいパズルを解くように緻密な設計が要求されます。そこで、ギアボックスやエアコンプレッサーなどパワートレーンの主要ユニットをすべて一体化。Hondaでもまれに見る高さを抑えたギアボックスの開発や、高回転化と軽量化を同時に実現したエアコンプレッサーなど、各ユニットのポテンシャルを最大化しながら集約一体化することで、ガソリンエンジンと同じようにボンネットへ収めることが可能になりました。



“現地適合”— 現場を重視するHondaならではの高品質な開発

開発の終盤にさらなる性能改善を求めて、季節ごとにアメリカや日本で「現地適合」と呼ばれる公道での走り込みを実施しました。ロサンゼルスからレイクタホまでの約850kmの長距離走行をはじめ、カリフォルニアでの酷暑環境や北海道での低温環境動作検証を時間をかけて念入りに行っています。CR-V e:FCEVの生産は、スーパースポーツNSXをはじめ、アキュラブランドのプレミアムカーを手がける「パフォーマンス・マニュファクチャリング・センター」で行います。日本で培われた燃料電池自動車の生産ノウハウをオハイオへ移管、活用しながら世界各国から調達したパーツを、マスター技術者が高品質なクルマへと組み上げます。



低温環境での動作テスト



パフォーマンス・マニュファクチャリング・センター



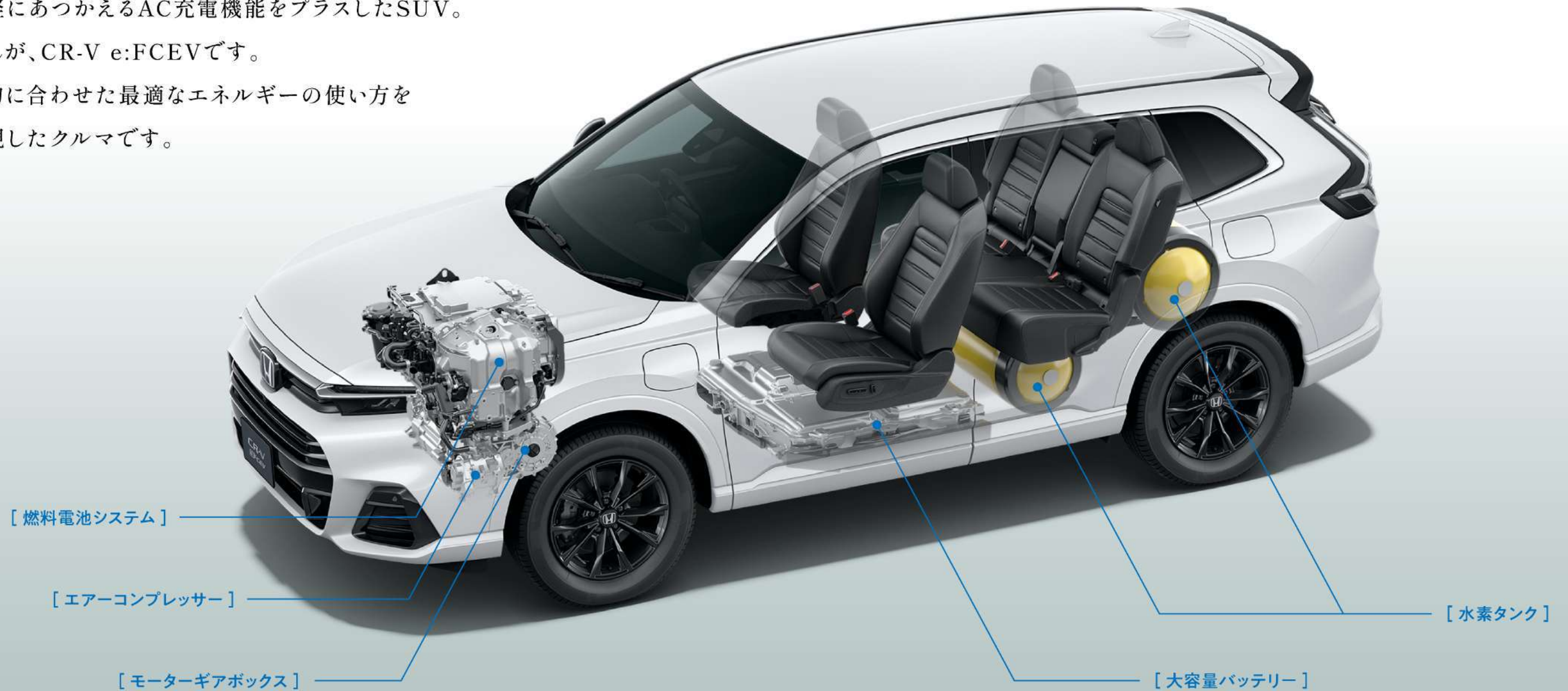
水素 × 電気。

ふたつのエネルギーを兼ね備えた、CR-V e:FCEV。

水素を充填して走るFCEV(燃料電池自動車)に、
手軽にあつかえるAC充電機能をプラスしたSUV。

それが、CR-V e:FCEVです。

目的に合わせた最適なエネルギーの使い方を
実現したクルマです。



高効率 & 静粛性を追求した一体型パワーユニット。

燃料電池システム、エアコンプレッサー、モーターギアボックスを一体化し、高効率かつ優れた静粛性を追求。
水素タンクシステムを荷室下に、充電した電気で走行するための大容量バッテリーを床下に格納しています。

style 01 [Electric Life]

燃料電池自動車(FCEV)でありながら、家庭用の普通充電にも対応。6.4kWの場合、約2.5時間*1で充電を完了し、約61km走行できます*2。ご自宅や商業施設で手軽に充電できるから、街中では水素の残量を気にせず、快適にドライブを楽しめます。



[eボタン]

バッテリーからの電力のみで走行するEVモードや、燃料電池システムを使用しバッテリーを節約するSAVEモードなど、選択したモードに応じて、燃料電池システムとバッテリーの電力を効率的に使うよう自動でマネジメント。電力はメーター左の高電圧バッテリー残量計、水素はメーター右の燃料計で残量を確認できます。

*1 EV航続可能距離の表示がゼロになった時点から、満充電までのおおよその時間。*2 一充電走行距離は定められた試験条件でのHonda測定値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて一充電走行距離は大きく異なります。■充電器の仕様、周辺の環境温度、バッテリーの残量によって充電時間や充電可能容量が異なる場合があります。■ご自宅などで充電する場合、充電設備が必要となります。

style 02 [Clean Drive]

SUVとは思えないロールが少なく一体感のあるハンドリング。まるでセダンのようにフラットで快適な乗り心地。振動や風切り音を抑えた優れた静粛性とあわせて、上質なロングドライブを体験いただけます。



[振幅感応型ダンパー]

モーターならではの力強く滑らかなアクセルレスポンスに加えて、ハンドリングや乗り心地にもこだわりました。乗り心地と操縦安定性を両立するダンパーの採用などにより、タイヤからの振動などを伝えにくい構造を徹底追求しています。

style 03 [Hydrogen]

一回あたりの水素充填は、3分程度で完了できます*1。70MPaの高圧水素貯蔵タンクを搭載し、一充填走行距離約621km*2を達成。水だけを排出する究極のクリーン性能を実現し、遠出でもゼロエミッションでドライブすることが可能です。



[充填方法もスマートに]

最寄りの水素ステーションは、Honda CONNECTディスプレイから検索できます。シフトポジションをPに、パワーモードをOFFにして、運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押すと水素充填口が開きます。

*1 SAE規格(J2601)の標準条件(外気温20℃、高圧水素タンク内の圧力10MPaからの充填)に基づいた水素充填圧70MPaステーションでの充填作業におけるHonda測定値。水素充填圧および外気温により、充填時間は異なります。*2 一充電走行距離は水素満充電、バッテリー満充電時に定められた試験条件でのHonda測定値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて一充電走行距離は大きく異なります。

style 04 [Power Supply]

コネクターを通して1,500Wまで給電できるAC給電口を車外に設置することにより、アウトドアや屋外レジャーで電気製品を使用できます。また、荷室には大容量の可搬型外部給電器へ給電できるDC給電口も装備。イベントや避難所などのバックアップに活用できます。



車外の給電ポートに標準装備のHonda Power Supply Connectorをつないで、アウトドアなどで最大1,500Wの電気製品を活用できます。電動工具やホットプレート、ドライヤーなども使用可能。



荷室にDC給電口(CHAdEMO)を装備。別売のPower Exporterを使えば、クルマから電力を取り出して、ライブなどの屋外イベントや、災害派遣時の医療機器への給電に活用できます。

■電気製品は、消費電力が1,500W以下であっても正常に作動しないおそれがあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。また、電気製品を使用する際には、電気製品に付属の取扱説明書や製品に記載されている注意事項を必ずお守りください。

style 05 [Comfort]

上質なしつらえと快適な使い心地を融合したインテリア。シートには植物由来のバイオ素材を、ステアリングには滑らかな触感のシンセティックレザーを採用。また、ワイヤレス充電器やUSBチャージャーも搭載。



[プライムスムーズシート]

プライムスムーズの裏地に植物由来のバイオ糸を使用。サステナブルに配慮しながらも、シート本来の機能も追求しています。



[ワイヤレス充電器]

Qi規格適合のスマートフォンを置くだけで充電が可能*。15W急速充電対応。

*充電可能エリアに収まらないQi対応機器の充電は行えません。Qi対応機器の機種によっては正常に作動しない場合や、ご注意いただきたい項目があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。ご使用にあたっては医師とよくご相談ください。⚡マークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)によるワイヤレス給電規格に適合しています。



詳しくは、
WEBサイトへ ▶

Honda SENSING

事故やヒヤリとする場面を

未然に防ぐことで、毎日の運転に安心を届けたいとHondaは考えています。

ドライバーの不安や困りごとを少しでも減らすために、Honda SENSINGは先進の安全運転支援機能でさまざまなシーンで運転をサポートします。



「Honda SENSING」について詳しくはこちら

CR-V e:FCEVはサポカーS〈ワイド〉に該当しています。



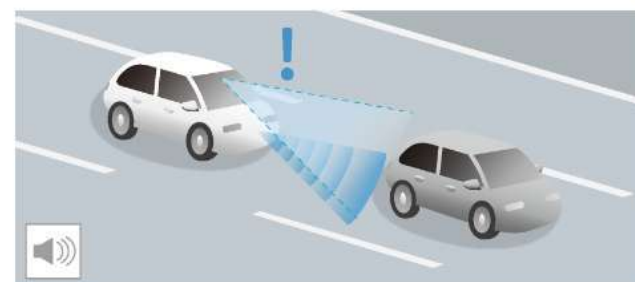
セーフティ・サポートカー(略称:サポカー)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。自動(衝突軽減)ブレーキなどの安全運転を支援する装置などを搭載し、ドライバーの安全運転を支援します。該当タイプや詳細についてはWEBサイトをご確認ください。

詳しくは、WEBサイトへ▶



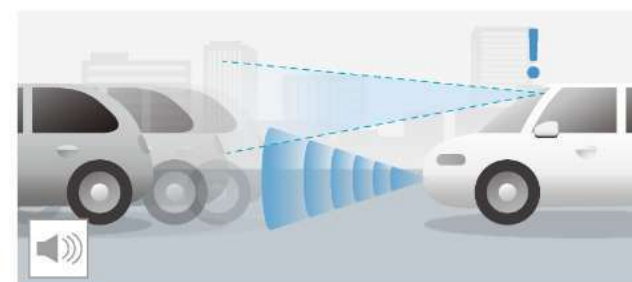
街なかで

ぶつからないために
衝突軽減ブレーキ(CMBS)



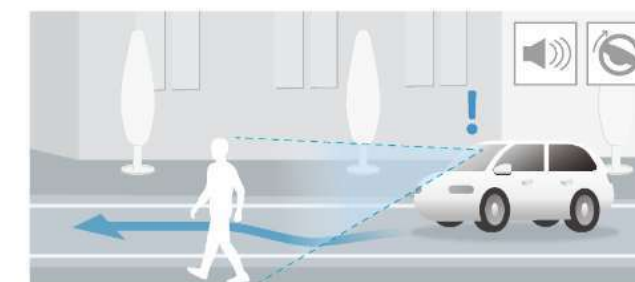
直進している時や、交差点などで右左折している時に車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音と表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。CMBS: Collision Mitigation Braking System

発進をお知らせ
先行車発進お知らせ機能



先行車が発進したことを、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。

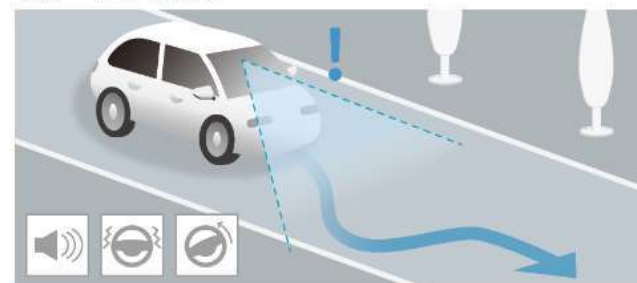
歩行者に配慮
歩行者事故低減ステアリング



走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。ステアリングも制御して回避操作を支援します。

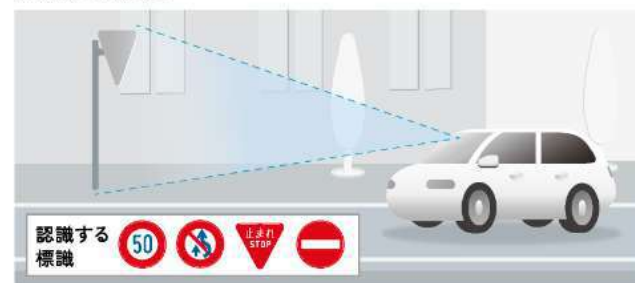
街なかで

はみ出さないために
路外逸脱抑制機能



車線や草、砂利などの道路境界をはみ出しそうな際や対向車への接近時に車線をはみ出しそうな際、逸脱を防ぐようにステアリングを制御して回避操作を支援するとともに、マルチインフォメーション・ディスプレイとステアリング振動、および音で警告します。

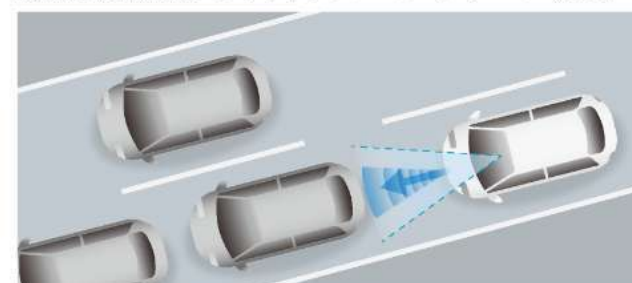
みのがさないために
標識認識機能



走行中に道路標識を認識してメーターに表示します。速度を超過した場合はメーターの表示を一定時間点減させ安全運転を支援します。

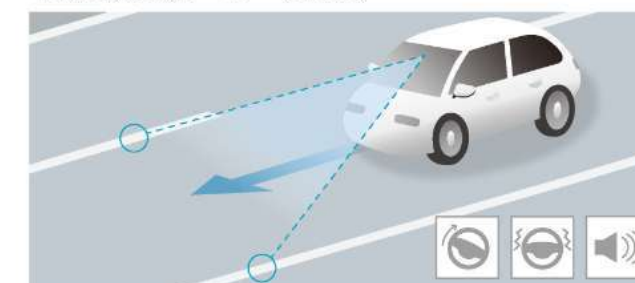
高速道路で

適切な車間距離を保つために
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)



先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速し、適切な車間距離を保つよう支援します。先行車が停車すれば合わせて停車する渋滞追従機能も付いています。

ふらつかないために
車線維持支援システム(LKAS)



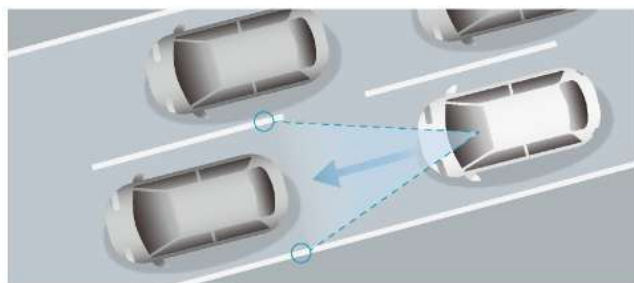
高速道路や自動車専用道路を走行中、車線の中央に沿って走行できるようにステアリング操作をアシストします。車線を外れそうな際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動、および音で警告し注意を喚起します。LKAS: Lane Keeping Assist System

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■先行車発進お知らせ機能は、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h~約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約30km/h以上で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、メーターに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、停車中またはブレーキペダルが踏まれていない時に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。

Honda SENSING

高速道路で

ふらつかないために
トラフィックジャムアシスト (渋滞運転支援機能)



高速道路などでの渋滞時、自車の走行車線をキープするようステアリング操作をアシスト。渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール (アクセル、ブレーキ操作のアシスト) と合わせて、渋滞時のドライバーの運転負担を軽減します。

斜め後ろのクルマをお知らせ
ブラインドスポットインフォメーション



走行中、斜め後ろにクルマの存在を検知すると、その方向のドアミラー鏡面上にマークを表示しお知らせ。さらにその方向にウインカーを操作すると、マークの点滅と警報音でドライバーに注意を促します。

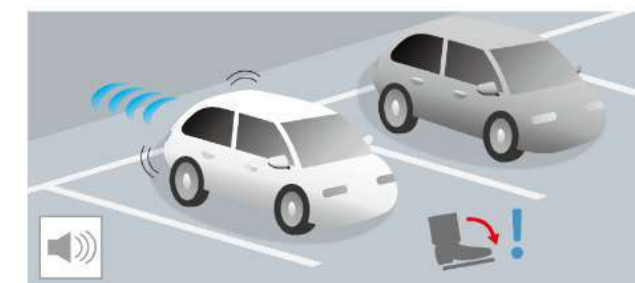
駐車場で

飛び出さないために
誤発進抑制機能*



前方に障害物があるにもかかわらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。

不意の後退を防ぐために
後方誤発進抑制機能*



後方に障害物があるにもかかわらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。

駐車場で

ぶつからないために
近距離衝突軽減ブレーキ*



壁などの障害物の見落としにより衝突するおそれがある際、運転者のブレーキ操作を支援し、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

駐車も出庫もスムーズに
パーキングセンサーシステム



クルマの前/後、斜め前/斜め後ろからの障害物の接近を、音と表示でお知らせ。細い路地を走る時や駐車時などでも安心です。

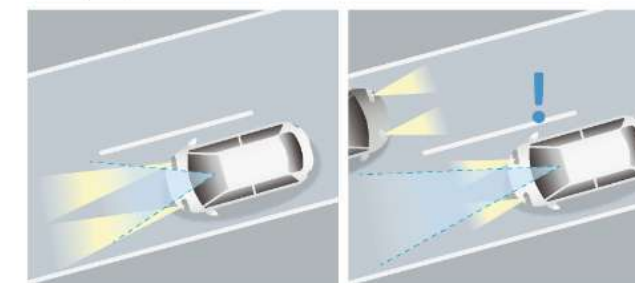
左右から近づくクルマをお知らせ
後退出庫サポート



バックで出庫する際、左右から近づいてくる車両を検知。警報音とナビ画面の矢印表示で、注意を促します。

夜間に

良好な視界確保のために
オートハイビーム



先行車や、対向車を検知してハイ/ロービームを自動で切り替えます。良好な視界の確保を支援するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。

■トラフィックジャムアシスト (渋滞運転支援機能) は、0km/h～約65km/hで作動します。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。また、運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■ブラインドスポットインフォメーションは隣接する車線後方の検知エリア (見えにくい位置) に他の車両がいることを知らせるシステムです。二輪車等が検知範囲に入ったときなど、条件によっては正しく作動しない場合があります。車線変更や合流時には必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して運転してください。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、パワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止します。■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周囲の安全確認を行いながら運転してください。■後退出庫サポートは出庫時の安全確認をサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。天候、積載荷重などの影響を受け、システムが正しく作動しない場合があります。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

Honda CONNECT



Honda リモート操作※1

スマホでクルマの操作や確認ができる

離れた場所からでも

スマートフォンでクルマを操作することが可能。



充電状態リモート表示

バッテリー残量などの充電状態を離れた場所からすぐに確認。充電忘れを防げます。



お出かけ前タイマー設定

充電しながらバッテリーと車内をあたため、暖房に使う電気を節約。走行距離(航続距離)を最大化します。

- 充電待機時間設定：充電開始を好きな時間に指定。
- 最大充電量設定：生活にマッチした最適な量を充電。
- エアコン操作：乗車する少し前から、エアコンをONにすることができ、車内を快適にします。
- クルマを探す：広い駐車場で自分のクルマが見つからない。そんな時に地図上で位置を確認できます。



自動地図更新サービス※2

あたらしい地図に自動で更新

通信により地図を“自動”で更新。目的地までの最適なルートをご案内します。



車内Wi-Fi

クルマをWi-Fiスポットに

スマートフォン、タブレット、ゲーム機等をクルマのWi-Fiに接続。音楽・動画・ゲームが楽しめます。もちろんパソコンでテレワークも可能。通信量は車内のディスプレイで必要な分だけ購入できます。



緊急サポートセンター

ボタン一つでオペレーターが対応

万一の時、クルマと緊急サポートセンターがボタン一つでつながります。さらに、エアバッグが展開した時は自動で通報します。クルマの状況がオペレーターに共有されるので、緊急・トラブル時には的確で迅速なサポートを提供します。



Honda ALSOK駆けつけサービス

盗難・いたずらに迅速対応



駐車中のクルマが異常を感知すると、あなたのスマートフォンに通知します。クルマから離れた場所にいる時は、緊急サポートセンターを通じて、ALSOKのガードマンを現場に急行させることができます。あなたの代わりに盗難やいたずらに適切かつ迅速に対処し、クルマの安全を守ります。



コネクテッド技術により一人ひとりの走行データを把握して、安全運転レポートをお届け。さらに運転スコアに応じて保険料の割引も。「安心・安全・お得感」をお客様へ。そんな新しい時代の保険です。

■適用には各種条件がございます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



「Honda CONNECT」について詳しくはこちら

「Honda CONNECT」をお使いいただくために

**Honda Total Care
プレミアム**

「Honda Total Care」へのご加入、および「Honda Total Care プレミアム」へお申し込めばご利用いただけます。

FEATURES



〔エクステリアデザイン〕ゆとりある力強さを宿した、知的なたたずまい。

〔インテリアデザイン〕上質なしつらえと快適な使い心地を融合。



〔ラゲッジルーム〕フレキシブルに使いこなせる、ゆとりの荷室空間。



〔静粛性〕長距離走行でも快適な、高い静粛性。



Honda CONNECTディスプレイ



マルチビューカメラシステム



ドライブモードスイッチ



メタル製減速セレクター



ドライビングポジションシステム



レイヤードハニカムメタルパネル

主要装備

[給電・充電装備]

- 普通充電ポート(外部給電機能付)
- 外部給電ポート(高出力対応CHAdeMOコネクタ)
- Honda Power Supply Connector(AC外部給電器)

[安全装備／運転支援機能]

- Honda SENSING(衝突軽減ブレーキ(CMBS)、誤発進抑制機能*1、後方誤発進抑制機能*1、近距離衝突軽減ブレーキ*1、歩行者事故低減ステアリング、路外逸脱抑制機能、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、先行車発進お知らせ機能、標識認識機能、オートハイビーム、パーキングセンサーシステム、ブラインドスポットインフォメーション、後退出庫サポート)
- マルチビューカメラシステム
- アジャイルハンドリングアシスト
- 運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステム
- 前席/後席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム(前席/後席対応)
- 運転席用&助手席用SRSニーエアバッグシステム
- フルLEDヘッドライト(デイトタイムランニングランプ付)(ハイ/ロービーム、マニュアルレベリング/オートライトコントロール機構付)
- VSA(ABS+TCS+横すべり抑制)
- EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS
- エマージェンシーストップシグナル
- ヒルスタートアシスト機能
- ヒルディセントコントロール
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト+運転席/助手席ラッププリテンショナー
- フロントアジャスタブル・シートベルトショルダーアンカー
- リア3点式ロードリミッター付プリテンショナー ELRシートベルト(左右席)
- リア3点式ELRシートベルト(中央席)
- 全席シートベルト非着用警報(シートベルトリマインダー)
- ISOFIX/i-Sizeチャイルドシート下部取付金具(リア左右席)+トップテザー取付金具(リア左右席)
- 電子制御パーキングブレーキ
- オートブレーキホールド機能
- イモビライザー(国土交通省認可品)
- セキュリティアラーム(国土交通省認可品)

[快適装備／メーター]

- Honda CONNECTディスプレイ
- USBジャック(Type-A)
- USBチャージャー(Type-C)
- 後席用USBチャージャー(Type-C 2個付)
- ワイヤレス充電器
- BOSEプレミアムサウンドシステム(12スピーカー)
- ドライブモードスイッチ(NORMALモード、SPORTモード、ECONモード、SNOWモード)
- アクセサリソケット(DC12V)(フロント/ラゲッジルーム)
- 10.2インチ デジタルグラフィックメーター
- マルチインフォメーション・ディスプレイ(Turn by Turn/経過時間/オドメーター/トリップメーター/平均燃費/瞬間燃費/推定航続可能距離/外気温/平均車速表示機能など)
- Hondaスマートキーシステム*2(降車時オートドアロック機能/キー 2個付、内1個 エアコンON/OFF機能付)&パワースイッチ
- 予約ロック
- 左右独立温度コントロール式フルオート・エアコンディショナー(プラズマクラスター技術搭載)
- エアコン電動コンプレッサー
- リアエアコンアウトレット
- リアヒーターダクト
- PM2.5対応高性能集塵フィルター
- 全ドアワンタッチ式パワーウインドウ(挟み込み防止機構/キーオフオペレーション機構付)
- ワンタッチウインカー
- ヘッドライトオートオフ機能
- リアシートリマインダー
- パワードアロック(テールゲート連動、運転席/助手席マスタードアロックスイッチ付)
- テレスコピック&チルトステアリング
- アクティブノイズコントロール
- アクティブサウンドコントロール
- eボタン
- ハンズフリーアクセスパワーテールゲート(予約クローズ機能付)

[インテリア]

- プライムスモースシート
- 運転席8ウェイパワーシート(スライド/リクライニング/チルト&ハイト)+助手席4ウェイパワーシート(スライド/リクライニング)
- ドライビングポジションシステム*3
- 運転席4ウェイ電動ランバーサポート
- 運転席&助手席シートヒーター
- シンセティックレザーステアリングホイール
- ステアリングヒーター
- アームレスト付センターコンソールボックス
- 自動防眩ルームミラー(フレームレス)
- サンダラスボックス
- 運転席用&助手席用バニティミラー付サンバイザー(運転席チケットホルダー/照明付)
- 運転席&助手席シートバックポケット
- ステンレス製スポーツペダル
- 6:4分割可倒式リアシート+リアセンターアームレスト
- リアシートリクライニング機構
- パンチングメタル・エアコンアウトレット
- LEDマップランプ
- LEDルームランプ
- LEDアンビエントランプ(ルーフ/フロントフット/フロントドアハンドル)
- アンビエントメーター(ドライブモード連動)
- LEDラゲッジルームランプ
- コンビニフック(ラゲッジルーム)
- フレキシブルラゲッジボード
- グラブレール(運転席/助手席/リア左右席)&コートフック(リア右側)
- メーターバイザー(シルバー)
- ドアオーナメントパネル(ピアノブラック調)
- インナードアハンドル(ブラチナクロームメッキ)
- レイヤードハニカムメタルパネル(インストルメントパネル/ドアガーニッシュ)

[エクステリア／ガラス]

- 熱吸収/UVカット/遮音機能付フロントウインドウガラス
- 高熱線吸収/UVカット/遮音機能付フロントドアガラス
- プライバシーガラス(リアドア/リアクォーター/テールゲート)
- 親水/ヒートッドアミラー
- LEDシーケンシャルターンシグナルランプ(フロント)
- 電動格納式リモコンドアミラー(クリスタルブラック・パール)(LEDウインカー付、助手席側リバーズ連動、オートリトラミラー)
- カラードドアアアガーニッシュ
- LEDリアコンビネーションランプ(ストップランプ&テールランプ&バックランプ)
- カラードテールゲートスポイラー
- スマートクリアワイパー(ウオッシャーノズル内蔵/ミスト機構付/雨滴検知式)
- ウオッシャー付間欠リアワイパー(リバーズ連動)
- ジャークフィンアンテナ
- フロアアンダーカバー
- e:FCEVエンブレム

[足まわり／走行関連メカニズム]

- 18インチ ノイズリデュースアルミホイール+スチールラジアルタイヤ
- 振幅感応型ダンパー
- VGR(可変ステアリングギアレシオ)
- 応急パンク修理キット(スペアタイヤレス)*4
- 電動サーボブレーキシステム
- エレクトリックギアセレクター
- メタル製減速セレクター
- フロントベンチレーテッドディスクブレーキ
- リアディスクブレーキ

*1「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。*2 Honda スマートキーシステムは、施錠・解錠のときなどに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。*3 ランバーサポートを除く。*4 工具(ジャッキ/ジャッキハンドルバー/ホイールナットレンチ(兼ジャッキハンドル))は装備していません。■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。■カラーにより納期が異なります。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

主要諸元

| | | | |
|------------|-------------------|----------------------------|--------------|
| 駆動方式 | FF | | |
| 車名・型式 | ホンダ・ZBA-ZC8 | | |
| 寸法・重量・乗車定員 | 全長(m)/全幅(m)/全高(m) | 4.805/1.865/1.690 | |
| | ホイールベース(m) | 2.700 | |
| | トレッド(m) 前/後 | 1.610/1.625 | |
| | 最低地上高(m) | 0.170 | |
| | 車両重量(kg) | 2,010 | |
| | 乗車定員(名) | 5 | |
| | 客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ | 1.925/1.565/1.220 | |
| | 電動機(モーター) | 型式 | MCF91 |
| 種類 | | 交流同期電動機 | |
| 定格出力(kW) | | 60.0 | |
| 燃料電池スタック | 種類 | 固体高分子形 | |
| 燃料・タンク | 燃料種類 | 圧縮水素 | |
| | 本数 | 2 | |
| | タンク内容量(L) | 109(前方53/後方56) | |
| | 公称使用圧力(MPa) | 70 | |
| 性能 | 燃料電池スタック | 最高出力(kW[PS]) | 92.2[125] |
| | | 電動機(モーター) | 最高出力(kW[PS]) |
| | | 最大トルク(N・m[kgf・m]) | 310[31.6] |
| | 最小回転半径(m) | | 5.5 |
| 駆動用バッテリー | 種類 | リチウムイオン電池 | |
| 動力伝達・走行装置 | 減速比 | 第一：2.950 第二：3.476 | |
| | ステアリング装置形式 | ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様) | |
| | タイヤ 前・後 | 235/60R18 103H | |
| | 主ブレーキの種類・形式 前/後 | 油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク | |
| | サスペンション方式 前/後 | マクファーソン式/マルチリンク(ウイッシュボーン)式 | |
| | スタビライザー形式 前・後 | トーション・バー式 | |

■主要諸元は道路運送車両法によるPHP(輸入自動車特別取扱)制度申請書数値。■CR-V、Honda SENSING、LKAS、Power Exporter、プライムスムーズ、Prime Smooth、VSAは本田技研工業株式会社の商標です。■Apple CarPlay、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。■Android Auto™、Android™は、Google LLCの商標です。■BOSEは、米国Bose Corporationの登録商標です。■CHADEMOは一般社団法人CHADEMO(チャデモ)協議会の登録商標です。■QiおよびQiマークはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。■Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。■プラズマクラスター(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。■製造事業者：ホンダ オブ アメリカ MFG., INC. (製造国：アメリカ) ■輸入販売元：本田技研工業株式会社 ■CR-V e:FCVはPHP(輸入自動車特別取扱)制度適用車両のため、持ち込み登録となります。■上記諸元値及び数値はメーカー設計値であり、参考数値です。登録時には車両の実測値が適用されます。

| | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 燃料消費率 129km/kg | 一充填走行距離 約621km | 一充電走行距離 約61km |
|----------------|----------------|---------------|

■WLTCモード走行パターンによるHonda測定値。■燃料消費率、一充填走行距離、一充電走行距離は定められた試験条件でのHonda測定値です。一充填走行距離は水素満充填、バッテリー満充電時での測定値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて数値は大きく異なります。と(1日当たりの走行距離、バッテリーの充電状態、エアコン使用による影響を大きく受けます)。■WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

Honda Total Care

日々のドライブやメンテナンス、急な困りごとなど、乗っている時はもちろん乗っていない時まで様々なカーライフシーンをサポート。詳しくは、Honda Total Care WEBサイトへ。
<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

My Honda

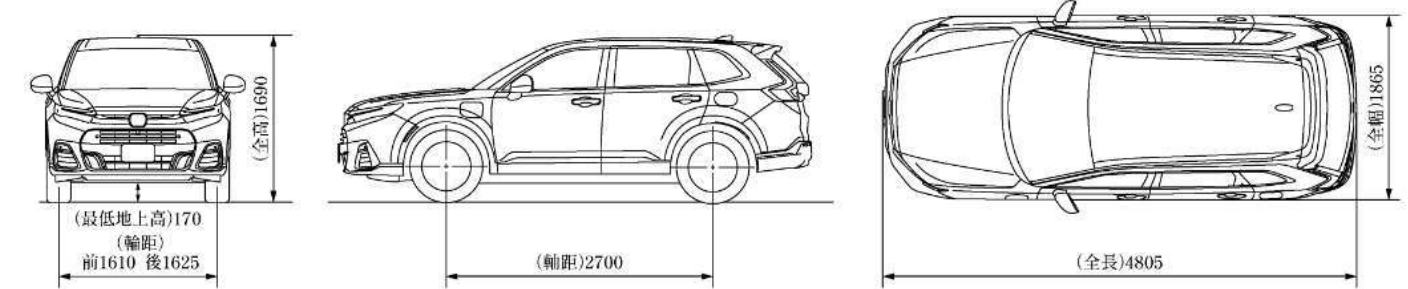
様々なサービスを1つのIDで! Honda IDをご登録いただくと、My Hondaを入口として、Hondaの様々なサービスと連携することができます。詳しくは、My Honda WEBサイトへ。
<https://my.honda.co.jp/>

3年間のメーカー保証

保証期間は、新車登録日から3年間*1。また、Hondaが特に指定した部品は5年間*2となります。保証内容は保証書、または販売会社にてお確かめください。
 *1 期間内でも走行60,000kmまで *2 期間内でも走行100,000kmまで

寸法イメージ図

単位：mm



環境仕様

| | | | |
|----------|-------------|---|-------------------------------|
| 基礎情報 | 車両型式 | ZBA-ZC8 | |
| | 原動機 | 型式 MCF91 定格出力(kW) 60.0 | |
| 環境性能情報 | 駆動装置 | 駆動方式 FF | |
| | 適合排出ガス規制 | 燃料電池自動車 排出ガス規制の適用を受けない自動車 | |
| | 適合騒音規制レベル | 平成28年騒音規制 規制値：加速走行68dB(A) | |
| | エアコン冷媒 | 種類/GWP値*1 | HFO-1234yf/1*2 |
| | | 使用量 | 530g |
| | 車室内VOC | 自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下) | |
| | 環境負荷物質削減 | 鉛 | 自工会2006年目標達成(1996年使用量*3の1/10) |
| | | 水銀 | 自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*4) |
| | | 六価クロム | 自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止) |
| | | カドミウム | 自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止) |
| 環境への取り組み | リサイクル | 樹脂、ゴム部品への材料表示 100g以上の樹脂部品全て | |
| | | リサイクルし易い材料*5を使用した部品 インパネハーネス、ウインドウモール、エンジンハーネス、カウルトップガーニッシュ、ドアハーネス、バンパーフェース、メインハーネス、ルーフモールなどの内外装部品 | |
| | | 再生材を使用している部品 | |
| | | バイオ素材を使用している部品 シート表皮の裏布 | |
| その他 | グリーン購入法適合状況 | グリーン購入法適合車 | |

*1 GWP：Global Warming Potential(地球温暖化係数) *2 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。*3 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。*4 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。*5 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。※この環境仕様書は2024年7月現在のものです。



※このラベルはフロン法に基づく指定製品に使用されている冷媒フロンの環境影響度として用いられている地球温暖化係数(GWP)について、定められた目標への達成度を表したものです。

「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現

次世代のために、今できること。これからすべきこと。Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。



子どもたちに青空を

製品のライフサイクルの各段階で資源使用と環境負荷の最少化をめざすとともに、製品によって、モビリティと暮らし全体で排出する温室効果ガスのゼロ化をめざします。

Safety for Everyone

すべての人の安全をめざして

すべての人が、心から安心して、どこへも自由に移動することができる。そんな喜びのある社会をつくりたい。その想いで、Hondaは力を尽くしていきます。



Together for Tomorrow
夢のある明日の社会づくりをめざして

地域に根づいた企業として、社会や人々とともに心豊かで活力ある明日をめざす社会活動を、グループ全体ですすめています。

快適なカーライフを過ごしていただくために

CR-V e:FCEV



全国メーカー希望小売価格（リサイクル料金 21,650 円は別途）

8,094,900 円 リース専用

（消費税抜き 7,359,000 円）



Photo:ボディカラーはプラチナホワイト・パール

[Interior Color]



ブラック

[Body Color]



プラチナホワイト
パール



メテオロイドグレー
メタリック

[主要装備]

●普通充電ポート(外部給電機能付) ●外部給電ポート(高出力対応CHAdemoコネクタ) ●Honda Power Supply Connector ●Honda SENSING ●マルチビューカメラシステム ●運転席用&助手席用SRSニーエアバッグシステム ●フルLEDヘッドライト(デイトタイムランニングランプ付) ●Honda CONNECTディスプレイ ●ワイヤレス充電器 ●BOSEプレミアムサウンドシステム(12スピーカー) ●プライムスムーズシート ●ドライビングポジションシステム ●レイヤードハニカムメタルパネル ●LEDシーケンシャルターンシグナルランプ(フロント) ●18インチ ノイズリデュースングアルミホイール ●メタル製減速セレクター など

■価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めております。■保険料、税金(消費税を除く)、登録などに伴う諸費用は別途必要です。■自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要です。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。■リサイクル料金は、リサイクル預託金(シュレッダーダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要費用、情報管理料金)及び資金管理料金の合計金額です。■価格には、応急バンク修理キットが含まれます。工具(ジャッキ/ジャッキハンドルバー/ホイールナットレンチ(兼ジャッキハンドル))は装備しておりません。■応急バンク修理キットを装備しておりますので、スペアタイヤは装備しておりません。■オプション価格及び取付費は価格に含まれておりません。■インテリアの写真はすべてカットボディによる撮影。■メーター類は撮影のため点灯。■画面はハメコミ合成。

リース専用 このカタログでご案内している仕様の車両は、Honda Carsからのリース専用車両となります。(一部取り扱いのない販売会社がございます)

本田技研工業株式会社

〒107-8556
東京都港区南青山2丁目1番1号



Honda WEBサイトはこちら ▶

お問い合わせ、ご相談はお近くの販売会社、または下記のフリーダイヤルまで。

▼車両について
Honda お客様相談センター
全国共通フリーダイヤル
0120-112010
(受付時間:9時~12時 13時~17時)

▼純正用品(ディーラーオプション)について
ホンダアクセス お客様相談室
全国共通フリーダイヤル 0120-663521
(受付時間:9時~12時 13時~17時
但し、土日・祝日・ホンダアクセス指定休日は除く)

Honda Cars よりお届けします。

後席もシートベルト、チャイルドシートも忘れずに。

Honda Power Supply Connector

標準装備

給電口にさすだけで使える
スマートな AC 外部給電器。

- ・軽量・コンパクトで持ちやすい
- ・ドアや窓を閉めたまま給電可能
- ・接続時の車両誤発進を予防



Power Exporter 9000 / Power Exporter e: 6000

別売

車両とつなぐことで電気を取り出せる
可搬型外部給電器。

- ・一般家庭の約2~3倍の電力を出力*
- ・100V/200V 同時出力可能
- ・家庭用コンセント並みの高品質な電力

*平均的な一般家庭の電気契約「従量電灯B・30A 契約(東京電力調べ)」より試算



Power Exporter 9000

全国メーカー希望小売価格
1,201,750 円 (消費税込み)



Power Exporter e: 6000

全国メーカー希望小売価格
883,960 円 (消費税込み)

2024.10 このカタログの内容は
2024年10月現在のものです。



いつか叶えたい夢のように、地球環境に想いをはせるだけの時はすぎている、と思う。
ペットボトルを水筒に。ビニール袋をエコバッグに。地球にやさしい選択を、少しずつ行動に移していく。
エコ、サステナブル、エシカル、SDGs。いろいろな呼び方がある。けれど、一時の流行にはしない。
これからも、この星で生きていくのだから。
自由に移動したいなら、乗り物も、地球にやさしい選択を。あしたに向かって、動きだそう。